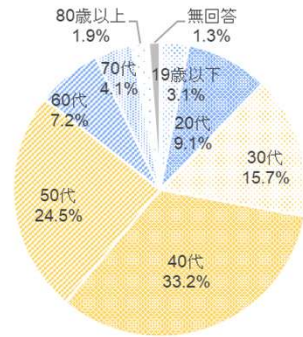


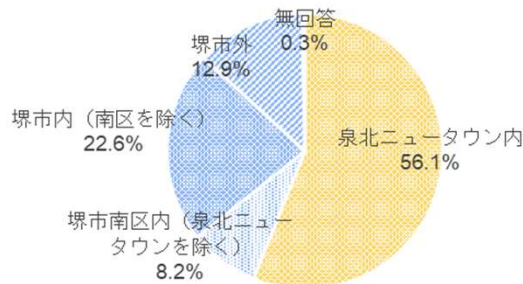
■ 回答者の属性等

- ・ 前回より、高齢者の割合が低い
- ・ NT内・外は、ほぼ半々
- ・ 公的賃貸住宅居住者が少ない。

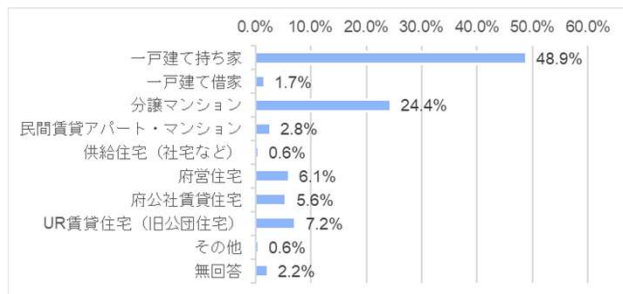
【回答者の年齢】



【回答者の居住地】



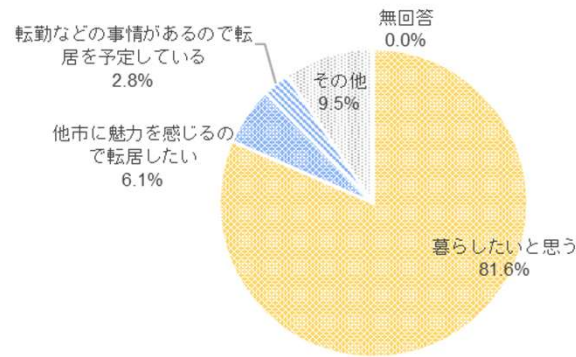
【回答者の住宅の形態】



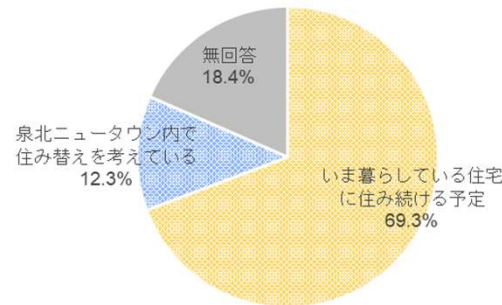
■ 今後の意向（泉北NT内居住者）

- ・ 泉北NTに今後も暮らしたい意向は約8割
- ・ 定住意向は約7割、住み替え意向は1割強

【今後も泉北NTで暮らしたいか】



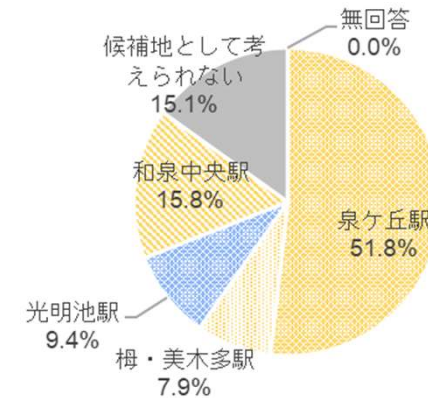
【今後の住み替え意向】



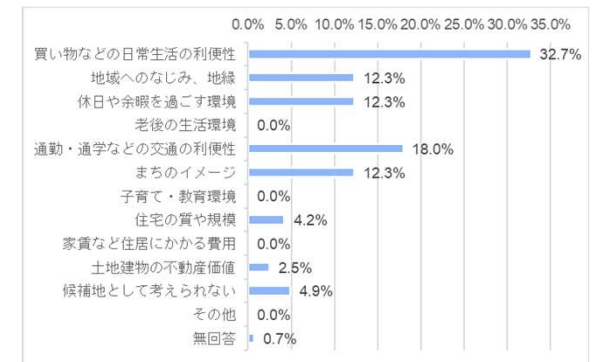
■ 今後の意向（泉北NT外居住者）

- ・ 泉ヶ丘駅への住み替え意向が約5割
- ・ その理由は、生活、通勤等の利便性

【沿線の住み替え候補駅】



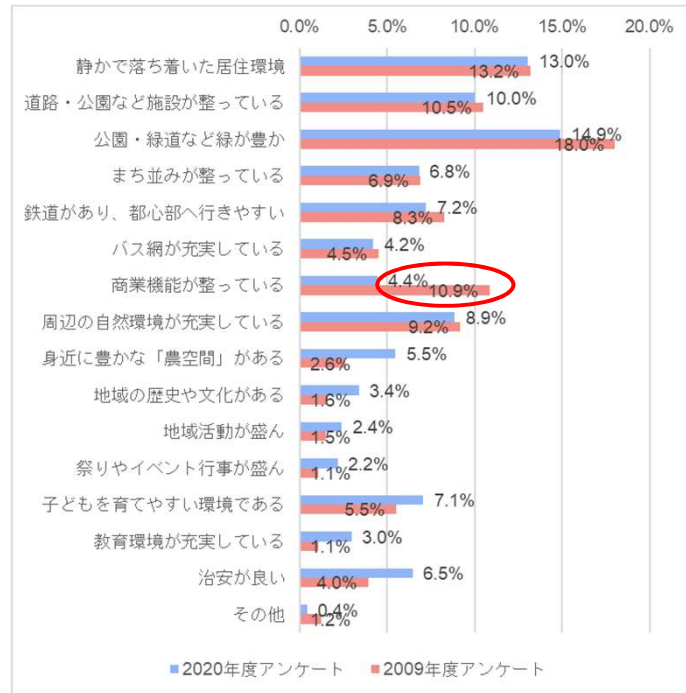
【候補地の選定理由】



未来の泉北ニュータウンの取り組みに向けたアンケート結果（公的WG関連抜粋）②

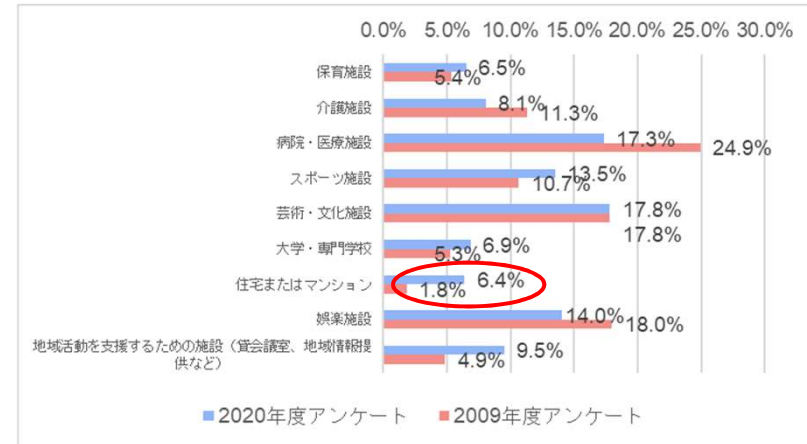
■ 泉北NTの魅力について（回答者全体）

- ・「公園、緑道など緑が豊か」がトップ
- ・前回より、「農空間」「治安」「子育て環境」の割合が高い。
- ・一方、「商業機能が整っている」の割合が大幅に減少している。



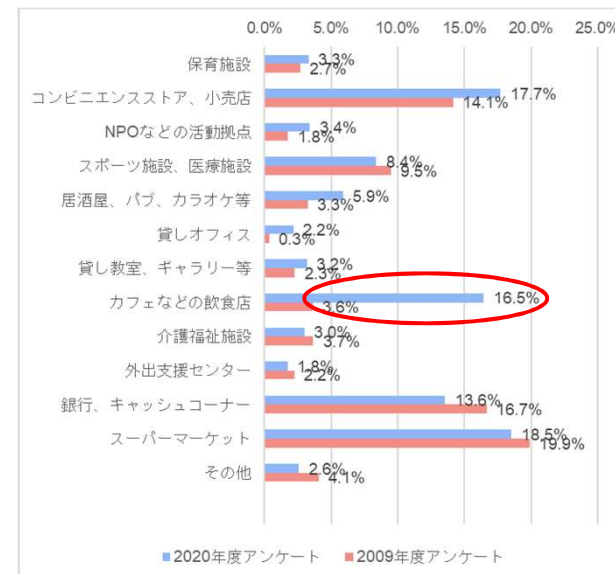
■ 地区センターの充実を望む施設（回答者全体）

- ・「芸術・文化施設」「病院・医療施設」の割合が高い。
- ・前回より「住宅またはマンション」「地域活動を支援するための施設」の割合が増加



■ 近隣センターの充実を望む施設（回答者全体）

- ・「スーパー」「コンビニ」「銀行」の割合は前回同様高い
- ・前回より「カフェなどの飲食店」の割合が、大幅に増加



未来の泉北ニュータウンの取り組みに向けたアンケート結果（公的WG関連抜粋）③

コロナの影響による生活様式の変化

【買い物・商業・飲食】

- ・スーパーやコンビニ等の食品を扱っている店しか近くになく、通販に頼りきり
- ・飲食店の利用が減ったので、地域の農産物直売所へ足を運ぶことが多くなり、駅前での買い物は激減
- ・電車に乗ることをためらうため、買い物を最寄り駅で完結させることが増えた
- ・近隣センターの店舗も多々が閉店してしまい、買い物等に支障がある状態。ネットでの買い物が増えた
- ・外食や出前を取る店が少なく選択肢を増やしてほしい

【緑道・公園など屋外空間】

- ・緑道のジョギングやウォーキングする人が増え、夜道に活気が出た
- ・散歩をする人が増え、まちと住民が交流できるチャンスに感じる
- ・運動不足解消のため緑道でランニングをすることが増え、歩車分離された緑道の快適さを実感。NT内だけで暮らせるコンパクトな街を保ち続けてほしい
- ・静かさや緑が多いのはかなり重要で、賑わいを無理に作り出す必要はない
- ・旧村の雄大でゆとりある環境に注目するようになった
- ・ソーシャルディスタンスを保ちながら集える公共空間の大切さを改めて感じた
- ・家にいることが増え、居住環境の良さに気づいた。
- ・テレワークが増え、広い居住空間や自然の豊かさ、遊歩道の充実といった泉北NTの魅力を再認識した

【働き方】

- ・テレワークなどに対応したコワーキングスペースやシェアオフィスがほしい
- ・空き家利用の貸しオフィス、テレワークや企業誘致
- ・職住近接が進み都心で仕事をする必要がなくなり、住環境を求めて移住を考える都市部の人が増えるため、街を活性化させる千載一遇のチャンス
- ・リモートワークが主流になっており、泉北NT内において仕事（職場）まで完結させる必要はない。泉北NTは住環境に特化した街づくりをお願いしたい。

泉北NTについて自由意見

【若年層が住みやすい住宅・住環境】

- ・若い世代、ミドル世代等、幅広い人が繋がりを持って生活が出来るまちにして欲しい。
- ・若い世代が移り住みたくなるような環境、おしゃれな店があったり、バーベキューができたり、休日を楽しく過ごせるような環境を整備
- ・若者ばかりに目を向けるのではなく、若者たちが老後も過ごしたいと思えるまちづくりに期待
- ・地価が高過ぎるので、子育て世代の収入では、住みたくても住めない。
- ・団地などの活用方法として、新卒などの若者に安く提供してほしい。一人暮らしがしたいので、安く住めるところなどがあれば実家近くに安心して住める。
- ・泉北NTで育った高校生、大学生、独身世代などのプレ子育て世代が地域に新鮮な魅力を感じれば、将来的に子育てをする場所の候補地にもなり、リターン定住する人も増える。
- ・泉北NTは「一戸建て・ある程度生活に余裕のある核家族や高齢者が暮らすまち」のイメージが強く、単身者が賃貸等を探す候補にしづらい。
- ・畑など貸農園を徒歩圏内で作ってほしい。
- ・容積率が当初のまま低すぎて、広い土地を買わないと、泉北ニュータウンで若い世代の住居が手に入らず、若返りが起きない。

【公的賃貸住宅団地】

- ・団地を全て、リノベーションしてほしい。
- ・老朽化した建築物等を見ると、若い人は来そうにない。まずは見た目を綺麗にするなど、住みたいと思えるような場所にしてほしい。
- ・府営住宅を整理し、戸建ての宅地を確保して欲しい。
- ・閉鎖した府営住宅解体や入居者の少ない団地集約
- ・公営団地の建て替え、集約事業が進まなさすぎる。
- ・一気に建て替えてしまうと人口構成がいびつになるので、長いスパンで上手に建て替え集約して欲しい。
- ・耐震性がなく取り壊しの対象となったが、今の自宅より不便な場所や、同じぐらい古い団地に引っ越すのは反対。

【まちのブランディング】

- ・泉北NTが他の町に対して誇りに思う点は、地域コミュニティと緑の多さ。この2点を他の町に負けないように強化してほしい。
- ・近年、団地へのクリエイター居住促進やレモン植樹を広める運動、泉北スタイルの取り組み等、「イメージ刷新」に向けた動きがありとても良い
- ・泉北NTの魅力は、何といっても豊かな自然や田畑に囲まれた良好な居住環境。車道を渡らず安全にニュータウン内を移動できる緑道もすばらしいアイデア。
- ・ほどよい余白・緑や農を楽しめる環境に加えて、地域内物流網や交通網が整備されれば、車が要らないエコノミー・エコロジーな街になる。シェアサービスやシェアスペースがもっと広がってほしい
- ・泉ヶ丘は駅から離れた街中に素敵なカフェがなさすぎ。散歩してあちこち巡る楽しみがほしい。

【緑道・公園など屋外空間】

- ・大蓮公園のような事業は大きく期待できます。郊外の良さを十分発揮した取り組みに期待
- ・緑道内にカフェやレンタルオフィス、レンタルスペースを作り、夜でも歩ける道にして欲しい。緑とランの綺麗な緑道を、ドリンク片手に若い世代が散歩する街になればいい。
- ・緑道をリニューアルというよりは、現状もしている雑草の草刈り等のメンテナンスを増やす方が、いつまでも綺麗という環境も魅力もupする。
- ・各近隣センター間をつなぐ緑道等を充実させてほしい
- ・自然豊かでない環境だが、治安面に不安がある。街灯が、少なくてこわい
- ・夜駅からの緑道が怖くて仕方ない。防犯カメラをつけたり、普通の道路のような作りしてほしい。

【企業誘致】

- ・郊外型事業所や工場の誘致。就労人口が増えれば絶対街は活性化する